



# 2019年度 キリスト教文化週間 特別礼拝

そのⅠ

10月8日(火) 10:40~12:10

## 「絵が描けたらいいな、 と思ったらそれで充分」

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

(テサロニケの信徒への手紙一 5:16~18節)

キム トウゲン

講師：金斗鉦

イラストレーター

日本基督教団 浦安教会 会員



講師よりのメッセージ：あなたは絵が苦手ですか？いつから描けなくなりましたか？小さいころは描いていたのに、描くのをやめてしまったのは、自分の絵が幼稚に見えた時からではないでしょうか？あるいはだれから言われて傷ついたとか。多くの場合10才から12才の時期が絵を描き続ける子と描かなくなる子と分かれ道になるのです。あなたはどっち？もし、あなたが親になったり、先生になったりとお子さんに関わる時に、子どもに絵をキライにさせないコツを知っていれば嬉しいと思いませんか？あなたと絵の秘密を分かち合いたいと願っています。

そのⅡ

10月15日(火) 10:40~12:10

## 「賛美歌を歌うということ」 ～平和をうたう、平和を祈る～

「後の世代のために、  
このことは書き記されねばならない。

『主を賛美するために民は創造された。』

(詩編 102:19)

講師：高浪 晋一

作曲家・合唱指揮者

日本基督教会 世田谷千歳教会 会員



講師よりのメッセージ：

聖書によると、私たちは「神さまを賛美するために創造された」とあります。それを体現するために、私たちは礼拝等で賛美歌を歌い、神さまを賛美しますが、その時に大事なことは、「ことば(歌詞)」に心を込めて、自分や他人のためでなく、神さまに向かって歌うということ。

世界的に情勢不安なこのとき、神さまが私たちに望まれている「平和を実現する者」となるため、みなさんと「平和を祈る」賛美歌を、ことば(歌詞)をしっかりと刻みながら共に歌い、神さまを賛美したいと思います。